

令和2年度 入学式のあいさつに代えて

皆さん、おはようございます。校長の山領（やまりょう）です。当初予定されていた4月の入学式からひと月余りが経過しました。残念ながら入学式は実施できませんでしたが、44期生233名の皆さん、あらためてご入学おめでとうございます。在校生、教職員一同、皆さんを心から歓迎します。

新型コロナウイルスの影響で、新入生の皆さんにとっては今年度の入試を控えた重要な時期から臨時休業が続いていますが、体調を崩さず毎日元気に過ごせていますか。直接皆さんの顔を見てお話しできないことが残念ですが、この間のことを少し振り返りたいと思います。

本校の3月2日の第41回卒業式は、来賓、保護者、在校生の参列がなく、卒業生と私たち教職員のみというたいへん寂しい形ではありましたが、とても心温まる感動的な内容で先輩たちを送り出すことができました。

臨時休業に入ってから、答案返却、教科書購入などを分散登校で何とかこなしながら、終業式も実施することができないまま、新年度を迎えることとなりました。中でも入学者選抜学力検査を実施し、44期生233名を迎え入れることができたことは本当に幸いでした。また、3月末でご退職になった先生方や他校へ転任された先生方がいらっしゃる一方で、4月から、新たに新転任の先生方6名をお迎えしています。

政府の「緊急事態宣言」発令後は、再び臨時休業が延長され、分散登校さえできない状況になりました。入学式や始業式、歓迎行事なども実施できず、新学期の始まりを実感することができない状況が続いてきました。部活動も全面的に活動禁止となり、全国高校総体（インターハイ）や全国高校総合文化祭（総文祭）も中止となりました。5月13日（水）より分散登校は可能となりましたが、1学期の中間考査や6月5日（金）に実施予定の体育祭は当面実施できません。9月4日（金）～5日（土）の文化祭も実施時期や実施形態の変更が必要になるかも知れません。学校再開後の授業時間を確保しつつ、行事についても生徒の皆さんの意見を聞きながら無理のない形で設定していく予定です。

学校では、生徒の皆さんの健康状態を把握し、学習機会をどのように確保するかを考えて、今までに学校から課題等を3回送付し、新しい担任の先生方からの家庭連絡によって皆さんの学びの意欲を絶やさないよう努めています。皆さんにも携帯端末などを使って、オンラインで毎日の健康状態をチェックしてもらっています。同時に学校では、今後、ICTを活用した授業ができるように検討を始めています。例えば、すでに3年生の進路指導などではメールや動画配信を活用した学習会やガイダンスを実施しています。アンケート調査も実施しましたが、ICT環境の整備など、まだまだ解決すべきたくさん課題があり、生徒・保護者の皆さん方の理解と協力がぜひとも必要です。

新型コロナウイルスとの戦いにあっては、ひとり一人が勝手な行動をとるのではなく、“One for All, All for one.” 「みんなは一つの目的のために」の精神が必要です。お互いを傷つけあうのではなく、支え合い、相手に対する思いやりの心をもつことが大切だと私は思います。

学校での授業はまだ再開できませんが、テレビやネットを通じた授業以外の学びの機会も数多く提供されています。分散登校をきっかけにして家庭での過ごし方、学習方法についても再度見直す機会としてください。また、配布された課題でわからないところがあれば遠慮せず質問してください。

イギリスの著名な政治家、ウィンストン・チャーチルは「風が一番高く上がるのは、風に向かっていている時である。風に流されている時ではない。」という名言を残しています。困難やプレッシャーの中でこそ人は最も成長するということをあらわしている、とても励みになることばです。困難に直面しても逃げ出さず、それを自分にとっての成長のチャンスだと肯定的に受け止めてください。

新入生の皆さん、見えない不安の中、これからの3年間、高校での学習で社会人として通用する力を身につけて、元気な笑顔で卒業して行ってほしい。自分の夢や希望の進路を実現するために、つらいことがあっても歯を食いしばって最後まで頑張り通してほしいと、教職員一同心から願っています。

最後に、直接お伝えしたかったのですが、保護者の皆様、お子様のご入学本当におめでとうございます。家庭教育と学校教育とは「子どもを育てる」という点で、車の両輪です。同じひとつの方向をめざして進んでいく必要があります。どうか本校の教育方針を十分ご理解いただき、今後も保護者の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今こそ、新型コロナウイルスの脅威に対して、日本が、世界がひとつになるべき時だと思えます。私たち人類は、過去にも幾度となく世界的な困難を克服してきました。人類の英知を結集し、今回も必ずこの困難な局面を乗り越えるであろうことを信じようではありませんか。皆さん方とご家族の今後の健康と安全を祈念して、始まりの日の挨拶とします。

令和2年5月13日

大阪府立門真西高等学校

校長 山領 正徳